

2024年12月2日

「屋根雪研究のための実験棟」を建設します(再送)

新潟工科大学では、安心・安全な雪国の暮らしづくりに貢献することを目的に、屋根雪研究のための実験棟を以下のとおり建設いたします。本学の研究の取り組みを広く周知いただきたく、取材のご協力を賜りますと幸いです。何卒よろしくお願いいたします。

1. 工事日時: 令和6年12月5日(木)、6日(金)概ね9時~16時(雨天でも実施)

2. 場所: 新潟工科大学 A棟付近(風車近く)
(住所: 新潟県柏崎市藤橋1719、TEL: 0257-22-8110)

3. 現地説明: 令和6年12月6日(金) 13時30分~14時
富永禎秀教授が実験棟建設について説明します。

4. 内容:

- ・本実験棟は、実物の約1/3のスケールを想定した準実大建物モデルです。
- ・建物の基礎と柱の間に荷重計が組み込まれており、屋根上に積もった雪の重さを直接測定します。このように屋根雪の重さを直接計測する例は、国内外で他にありません。
- ・屋根雪重量以外に、周辺の気象条件(積雪深、降水量、気温・湿度、日射、風速・風向など)、建物の微振動、梁などの部材のたわみなどを計測します。
- ・得られた結果は、屋根雪推定数値モデル、屋根雪の簡易リアルタイム計測手法の開発や精度検証に利用されます。
- ・これらによって、雪に強い構造物の合理的な設計方法を確立したり、雪下ろしの要否やタイミングを適切に知らせるセンサーを開発することが可能になります。これらを通じて、安心・安全な雪国の暮らしづくりに貢献します。
- ・日本学術振興会・科学研究費(基盤A)、新潟工科大学・リサーチコアステーション研究費の助成を得て建設します。また防災科学技術研究所・雪氷防災研究センター(長岡市)との共同研究です。
- ・設計・施工は、(株)高田建築事務所(長岡市)が担当します。



実験棟の外観(雪氷防災研究センターに設置済みの同型のもの)



○お問い合わせ
新潟工科大学 地域産学交流センター
風・流体工学研究センター 高橋
TEL: 0257-22-8110 FAX: 0257-22-8123
e-mail: career-sangaku@adm.niit.ac.jp